

一九五〇年十一月二十一日印刷
一九五〇年十二月一日發行(毎月一日一回發行)



史學・考古學・地理學

第三十三卷 第六號

北陸門徒の關東移民……………五 來 重

ジョン・ディッキンソンのえらんだ道

——アメリカ獨立革命における一穩健派について——

……………今 津 晃

ヨーロッパ村落の生態

——集落及び農地の社會的機能について——

……………水 津 一 朗

宋代解州官營鹽業の構造

——その支配と隸屬——

……………池 田 誠

《學界展望》西洋史學界の動向

資料紹介・書評・著書論文目録・彙報

史 學 研 究 會

いた上納の幾割かを新永山氏が納めたという。

㉔「歎願下書」

歎願下書には文化五年六月十八日に急死すとあり、その條の貼紙に「御内意ニヨリ十五歳ノ女子一人ヲ殘シ六十二歳ニテ六月十八日法衣ヲ着シ自害ノ次第ト相成云々」とある。

㉕勸農或問

笠間領東那珂村曾根の堀氏から岡村木植、北那珂村稻、およびこの播田實に分家したという。播田實氏の記録は終戦後行方不明になつたのは惜しい。

㉖水戸藩での入百姓記録は全く見出すことが出来なかつた。以上は移民や寺院の傳承をもととして立論したものである。

㉗唯信寺にはほとんど完全に入百姓記録が残つていたというが昭和二十年の米機友部海軍航空隊空襲の際銃撃で全焼、記録一切を焼失し、上掲の感狀一通が偶然残つた。

㉘「下野八條村高田本誓寺掛所記録」

「引越百姓差配年次表」は本誓寺掛所記録の數と若干の相違あり、そして三百戸千七百人というのは竹恒君徳政之碑による。

㉙下野八條村高田本誓寺掛所記録

日本學術會議會員
第一部（全國區）
推薦候補者

（西洋史）

京都大學教授
文學博士

原 隨 園

（東洋史）

京都大學教授
人文科學研究所長

貝 塚 茂 樹

（日本史）

京都大學教授兼
東京文理科學大學教授
文學博士

小 葉 田 淳

今回の日本學術會議會員改選に際し、本會は左の學會と共に右の三氏を公認候補として推薦することになりましたから會員各位におかれましては何卒よろしく御支援下さるようお願いいたします。

史 學 研 究 會

京都大學讀史會
東洋史研究會
西洋史讀書會

造的にプロシアの農業に限定されている點に
また資料提出の意圖にとどまつている點に物
足らなさを感ずるのを否み難い。

村瀨興雄氏の「第一次大戦末期のドイツ軍
部」(歴史學研究第一四五號)は、第一次大
戦においてドイツの實權を握つていた軍部の
内部にあつて民主・共和革命に對する支持派
が形成された形跡がなかつたであらうか、と
の疑問を提出し、ドイツ軍崩壊に先立つ一九
一八年六月三日「政治的攻撃」とよばれる政
治方針書を上申したヘフテン大佐を取り上げ
大戦末期に於ける政治的對立と絡み合せつゝ
その問題を追求されたものである。戦争末期
にあつてもなお「勝利の平和」を主張する保
守的軍部の中にあつて、「妥協の平和」と國
内民主化に賛成している彼は一應平和的、民
主的傾向を持つものといえる。しかし彼とて
戦力増強の手段として民主主義に賛成するに
過ぎず、議會と社會民主黨が内治外交の決定
的要素となることを極力防止せんとし、帝政
ドイツの支配勢力を代表するルーデンドルフ
の許容し得る意見の抱懷者であり、結局民
主、平和勢力ではなく、むしろ保守的性格を
持つとの、提起された問題に對する否定的見
解に達しておられる。彼の如き進歩的分子す

ら保守的軍部の枠外に出ることはなかつたの
である。ワイマル共和國に於いて、またナ
チスに於いて舊軍部が國防軍の形で存続し、
極めて大きな勢力を持つていた事實を思ふな
らば、このドイツ軍部の社會的、政治的性格
の分析は大きな問題であるといへ得べく、氏
が「結論と見通し」に於いて、國防軍の内部
からナチスが成長したのではないが、協力關
係を有し、それ等はドイツ保守主義の二つの
タイプを代表していたと指摘されているのは
興味深い。しかしかゝる問題を追求するに際
して、ヘフテン大佐を取り上げることが如何
程まで問題の核心に迫り得るものであるかと
の疑問は提出され得よう。

(秋山博愛)

(附記)

以上我々は本年前半期の西洋史學界を掴み
て紹介論評を試みて來たのであるが、筆者ら
の至らぬ所より擧げもらしたものであるやも知
れず、また理解の不十分より來る暴言なしと
しないであらう。分擔した四者の連絡の不十
分より生じた文體、記述方法の不統一と共に
お詫びしたい。

前 號 目 次 (三三ノ五)

- 殷代に於ける祖先の祭祀について……………岡田芳三郎
- 中世におけるギリシア語と……………兼岩 正夫
- ラテン語の問題……………曾我部靜雄
- 我が律令時代の里と郷とについて……………曾我部靜雄
- 學界展望——東洋史學界の動向……………

次 號 予 告

- 世界の機業特輯——
- ロンドン新冒險商人組合の設立……………星川 輝夫
- 攝津平野郷における綿作の發展……………高尾 一彦
- 小松 絹の發 展……………岩井 忠熊
- 中國絹織技術の發達……………太田 英藏
- 世界の機業に關する著書論文目錄……………
- 新刊批評と紹介、學界彙報その他……………

考古學關係 (著書)

- 岐阜縣史蹟天然紀念物報告書(第十一輯) (A5・70頁 岐阜縣教育委員會)
- 石川縣考古學研究會々誌 第二號(二八頁 石川考古學研究會)
- 群馬縣川内村千綱谷戸石塚調査予報 崗田芳雄著 (A5・二三頁)
- René Grousset; Sur les Traces du Bouddha 1948 Paris 240 fr.
- René Grousset; l'Inde 1949 Paris

〔雜誌論文〕

- 考古學雜誌三六ノ二(七月)
- イランに於ける最近の考古學的成果とステップの藝術 ルネ・グロッセ
- 日本に於ける巨石記念物 駒井 和愛
- 正倉院の布幕 原田 淑人
- 銅鐸面の「工字形器具を持つた人物」画像について 布目 順郎
- 阿波國名西郡源田出土の銅鐸とその遺蹟 三木 文雄
- 神奈川縣足柄郡下中村沼代石器時代敷石住居址調査略報 西村 正衛

著書論文目錄

鹿兒島縣伊佐那羽月村下殿古墳發掘調査報告
會野、中川、佐藤

史迹と美術 二〇五(八月)

奈良朝寺院の二三の鎮壇具に就いて

梅原 末治

日本上代彩刻の展開(四)

小林太市郎

日本正倉院の生簾(下)

田中 重久

淡路日光寺の元享二年在銘五輪塔

藤澤 一夫

淡路三原郡堺村の石造五重塔と五輪塔

田岡 香逸

ORIENTAL ART vol. II, No. 3

WINTER 1945—50

Shennan E. Lee: JAPANESE ART

ART SEVENTH

Basil Gray: China or D'youngson

Michael Sullivan: The Traditional Trend in contemporary Chinese Art

Henni Deydier: L'inscription du Bas-relief de

Kāpiti-Bégram et la chronologie de l'art du Gōndhāra

Sheila Yorke Hardy; Ku Y'ien Hsüan

執筆者紹介

- 五來 重氏 高野山大學教授
- 今津 晃氏 大阪大學助教授
- 水津一朗氏 京都大學大學生 特別研究生
- 池田 誠氏 京都大學大學生 特別研究生

宮崎市定著

東洋的近世

B6・二二〇頁
價二番圓 千二圓

いわゆる「世界史」理解の究極の鍵は東洋史の究明にあつて、「近世」という概念は世界史の立場に立つ限り新たに發見されるべきものである。
本書はかかる見地に基き、東洋史に於ける量の問題を取上げ、質的なものも量的なものに還元することによつて「西洋と東洋」の二つの世界に共通の地盤を探究し、「世界史研究の新しい公式を打立てんとした」もの。
あえて廣く一般におすゝめする。

發行所

大阪市東區南新町一ノ六
教育タイムス社
振替大阪七一九二〇番

近世農業經營史論……………戸谷敏之著・宮川滿	日本考古學入門……………原田淑人編・樋口隆隆
……………三 九三(三五八)	……………四 一〇〇(四八九)
日本の農業—その經濟地理學的研究	初期封建制の構成……………安田元久著・黒田俊雄
……………三 九六(三六一)	……………五 六四(五七三)
アメリカ農業の……………細野重雄著・織田武雄	西洋經濟史……………堀江英一著・田村滿穂
機械化……………三 九八(三六三)	……………五 六八(五七七)
ラテン……………田中耕太郎著・K・H	都市近郊農業論……………宮田禎雄著・藤岡謙二郎
アメリカ史概説……………一〇〇(三六五)	……………六 九七(六九三)
原始時代の文化—太古の人類と文化	イギリス資本と東洋……………松田智雄著・北村敬直
……………自然史學會編・横山浩一	……………六 九八(六九四)
……………三 一〇二(三六七)	北九州古文化圖鑑第一輯……………有光敦一
中國革命史論……………橋 撲著・里井彦七郎	……………六 一〇〇(六九六)
……………三 一〇四(三六九)	續親鸞ノート……………服部之總著・松山 宏
プロシヤ農業改革とエンカー經營の發展	……………六 一〇一(六九七)
……………林健太郎著・廣貨源太郎	立憲王制……………Felzi Pontail……………合田裕作
……………四 九二(四八一)	……………六 一〇四(七〇〇)
雍正帝……………宮崎市定著……………岩見 宏	
……………四 九四(四八三)	
藝術精神史研究……………中村二炳著……………石田一良	
……………四 九七(四八六)	
Die Frankfurter Altstadt, eine historisch-geographische Studie von Karl Nahr-gang [Rhein-Mainische forschungen 1949 Heft 27]	
……………水津一郎	

編輯後記

多くの學術雜誌が經營の危機にある時、來年度よりの月刊豫定を次に控えて、今年の豫定通り最終號をこゝに送り得ることは、編輯關係者一同の大きな喜びである。そしてこのことはまた、内容的にも學界への寄與の乏し

くなかつたことの自信にも連がつている。本號は卷頭論文の五來氏、次の今津氏の堅實な論考に、更に、水津、池田兩氏の若き新進學徒の力作をも加へたことは、古き傳統の上になお時代の新しい息吹を感らんとした編輯部の苦心であつた。何れも紙數の制限は著者の十分な意見の展開を著しく制約したが、評價は偏に讀者の賢察に俟ちたい。更に本號には、新たに資料紹介欄を加へた。新史料を速く廣く一般に公開することは勿論、公刊されていぬ種々の資料を學界の活用に使ふことも現在の學術雜誌として不可欠の義務の一と考えるからである。兎に角我々は努力して三十三卷の最終號に至つた。然し乍ら、我々の主觀とは別に會員及び一般の皆様には種々の不備と欠陥が指摘されるであらう。その點を遠慮なく指示して戴きたいし、可能な限り御希望に副いたい。史林編輯部は、不安定という意味ではなく動つてゐる。自己批判は常に重ねて行きたい。この意味で、皆様の御支援と御協力を切望しつつ、本年最後の編輯を終へる。最後乍ら、教育タイムス社の理解と援助に深い謝意を表する次第である。(門協記)

戦後最大の出版企畫!

☆新しい課題と新しい研究を盛つた最高の學術書!
 ☆社會科教育における革新的な參考文獻!
 ☆社會科學の爲の標準的・體系的な一大資料集!

「われわれ人類をその發生當時から現今の絢爛たる殷賑
 二十世紀文明をどのようににして築いて来たか?」
 本書はこの興味ある廣汎なテーマを捉えて百數十名からなる斯界の權
 威が歴史學・考古學・地理學的立場から人類の「文化」の階梯をその
 斬新高次の研究成果をもととして、詳密・精細、而も平易にまとも
 上げたものである。學校・圖書館・官公廳・公民館・
 學生生徒の「社會科研究の熱烈的意欲」に應えんがための書としては
 またとない唯一絶好の大著である。學校・圖書館・官公廳・公民館・
 研究室の書架に飾る相應しいものである。

京都大學史學研究會編

人類文化史大系

全十五卷

【編輯委員】

- 一 卷 井上智勇 高尾一彦
- 二 卷 田村實造 織田武雄
- 三 卷 前川貞次郎 藤岡謙二郎
- 四 卷 會田雄次 里井彦七郎
- 五 卷 柴川 實 日比野丈夫

- 【構成及び配本順位】第一回配本十一月初旬
- 一 卷 人類と文化 ① 九 卷 國家と政治
 - 二 卷 生活文化 ② 十 卷 國際關係
 - 三 卷 都市と村落 ③ 十一 卷 思想と文學
 - 四 卷 科學と技術 ④ 十二 卷 宗教・倫理・教育
 - 五 卷 生産と流通 ⑤ 十三 卷 藝 術
 - 六 卷 交通と通信 ⑥ 十四 卷 二十世紀の歴史學・
 - 七 卷 文化交際 ⑦ 十五 卷 人文地理學・考古學
 - 八 卷 社會 ⑧
 - 九 卷 總 索 引 ⑨
 - 十 卷 ⑩
 - 十一 卷 ⑪
 - 十二 卷 ⑫
 - 十三 卷 ⑬
 - 十四 卷 ⑭
 - 十五 卷 ⑮

内容見本呈

學校・圖書館・官公廳・公民館
 研究室 必備の良書!

【發行所】

大阪市東區南新町一ノ六
 株式會社 教育タイムス社
 振替大阪七一九二〇番

各卷 350—450 頁
 總 價 300 円
 上製函入

1950年10月25日 印刷 1950年11月1日 發行 史 林 (第33卷6號) 定價 80 円

京都大學文學部内
 編 輯 史 學 研 究 會
 (代表者 俣伯 富)
 大阪市東區南新町1ノ6
 發行人 岸 本 貞 三 郎

京都市右京區太秦上洞部町10
 印刷所 大日本印刷株式會社
 京都工場
 大阪市東區南新町の196
 發行所 教育タイムス社
 振替大阪71920番

THE SHIRIN
or the
JOURNAL OF HISTORY
(MONTHLY)

Vol. XXXIII, No. 6 DEC, 1950

CONTENTS

- The Emigration of the Shin-Seet Believers from
Hokuriku to Kanto District *S. Gorai*
- The Attitude of John Dickinson in the Time of
the American Revolution *A. Imazu*
- Settlement Ecology in Europe *I. Suizu*
- Government Salt Works in Chieh-jou (解州) Dis-
trict during the Sung (宋) Dynasty (960-1126)....*M. Ikeda*

Book Reviews

News from the Academic World

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(The Society of Historical Research)

Kyoto University, Kyoto, Japan